

設楽ダム連続公開講座の通称（案）について

名 称	理 由
設楽ダムセミナー 設楽ダム公開セミナー	略称：ダムセミナー 一般県民に馴染みのある「セミナー」という言葉を用いることにより、少しでもやわらかいイメージを持たせた。
豊川流域セミナー ～ 設楽ダムを契機として ～	略称：流域セミナー 豊川流域は、従来から深いつながりを持ってきたが、今後も一体的に発展をするために、この設楽ダムを契機として、県民皆が考える機会になって欲しいという願いからこの名称を考えた。
豊川流域なるほどサロン 豊川流域なるほどカフェ ～ 設楽ダムを契機として ～	略称：流域サロン、流域カフェ 豊川流域にまつわる様々な情報を設楽ダムを契機として、県民の皆様に広く知っていただき、「なるほど」と感じていただけるような場にしたいという意味を込めてこの名称を考えた。
設楽ダム連続公開セミナー ～ 愛知の“水”を考えよう ～ ～ そもそも“ダム”って何のため、誰のため ～ ～ 私たちの流域を思いやろう ～	略称：公開セミナー、連続公開セミナー サブタイトルに関しては、初心に帰って、もう一度確かめようという観点から、様々なものを考えた。
Think あいちの水“設楽ダム”を考えよう 連続セミナー	略称：連続セミナー、 サブタイトルを講座の名称にしたような案を考えた。
あいちと東三河の水と地域を考える夕べ	略称：水と地域の夕べ 水と地域を絡めた案を考えた。
豊川流域ほっとルーム 豊川流域しんきんぐルーム ～ 設楽ダムを契機として ～	略称：ホットルーム、シンキングルーム、流域ルーム 設楽ダムを契機として、豊川流域にまつわる様々な情報を1つの部屋で熱く語られたり、考えたりすることができる講座という意味でこの名称を考えた。